

ガソリンコックの パッキン交換

カワサキ 250SS / 絵で分かる作業手順

旧車ノート
2026年9月

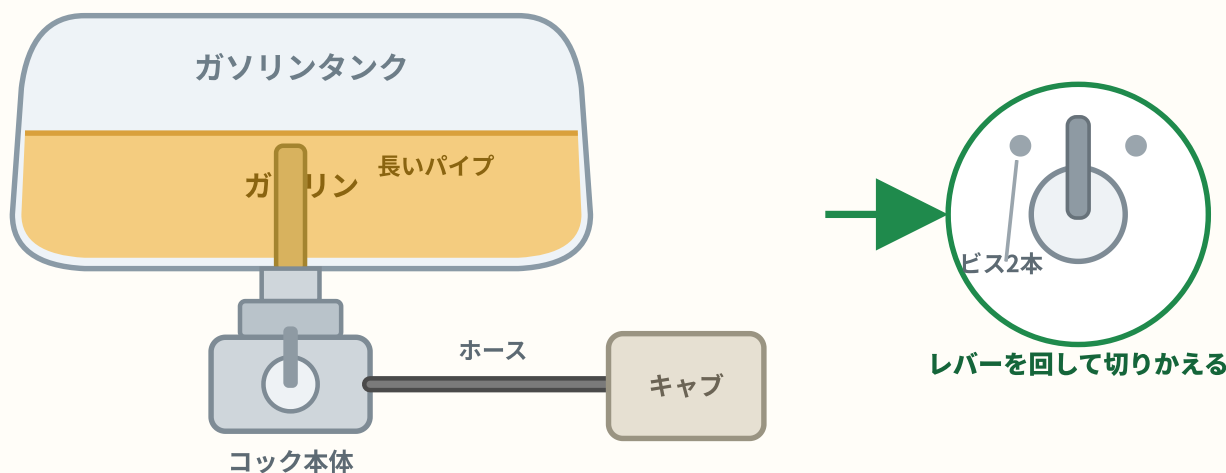
⚠️ さいしょに —— ガソリンの3つの約束

- 外でやる。ガソリンのにおい（蒸気）は空気より重くて、床にたまります
- 火を近づけない。タバコ・グラインダー・溶接はぜったいダメ
- 消火器を横に置く。これだけは面倒がらない

ガソリンは静電気の火花でも燃えます。受け皿はプラスチックではなく**金属**を使ってください。
手袋（ニトリル）と保護メガネもつけましょう。

1 コックって、なに？

タンクの底についていて、**ガソリンを出したり止めたりする蛇口**です。中に小さなゴム（パッキン）が入っていて、それが固くなると**ガソリンがにじんで漏れます**。今日は、そのゴムを新品に入れかえます。



タンク → コック → ホース → キャブ。コックはガソリンの通り道の「蛇口」。

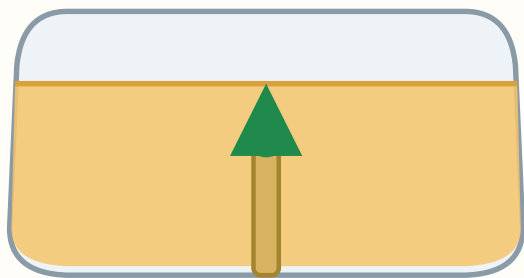
しくみと、中身

分解する前に、知っておくこと

旧車ノート
2026年9月

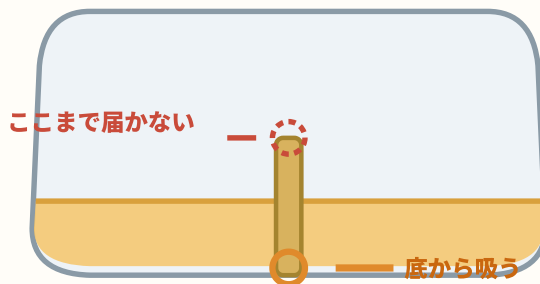
2 ON と RES のふしぎ

コックには **ON**（ふつう）と **RES**（予備）があります。でも、タンクが2つに分かれているわけではありません。ちがうのは「ガソリンを吸う高さ」だけです。



ON = パイプの上から吸う

ガソリンがたっぷりある間はこれで走れる



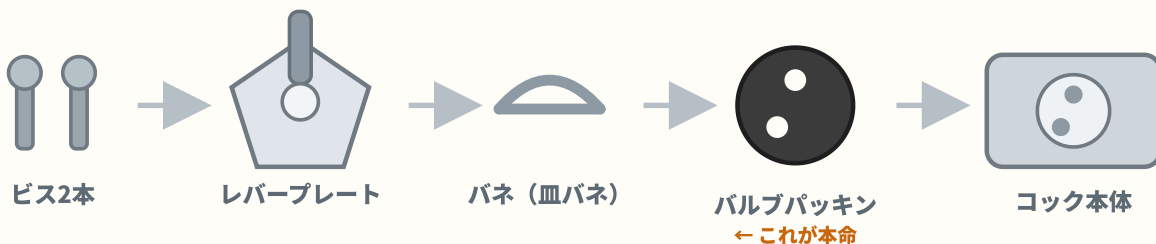
RES = 根元（底）から吸う

ONで吸えなくなった残りが「予備」になる

同じタンクの、吸う場所がちがうだけ。だから RES にすると「もう少し」走れる。

3 中に入っているもの

ビス2本をゆるめると、この順番で出てきます。出てきた順に、そのまま紙の上に並べていきます。



この順番のまま、紙の上に一列に置く。表と裏の向きもそのまま。

ならべ方と、じゅんび

ここを飛ばすと、あとで全部やり直しになります

旧車ノート
2026年9月

4 パッキンの並べ方（いちばん大事）

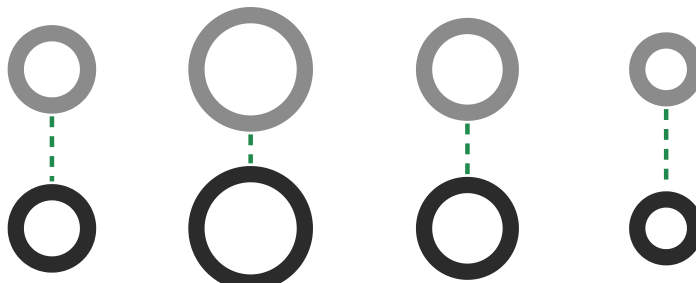
◆ **かんぜんに、同じに見えます。**

パッキンは大きさが少しちがうだけで、見た目はそっくりです。あてずっぽうで組むと、必ずどこかから漏れて、全部やり直しになります。

外したパッキンと、新しいパッキンを、紙の上で1対1に並べる。これをやってから組みます。分解する前にスマホで写真も撮っておきましょう。

外したもの

新しいもの



大きさ・厚みで、1つずつ対応させる

古いほうがつぶれて薄くなっていることがあります。迷ったら外径と内径を定規で測る。

5 用意するもの

プラスドライバー #2（サイズが合うもの）

金属の受け皿（オイル受け）

スパナ／メガネレンチ

燃料ホース＋ホースバンド（いっしょに交換）

パーツクリーナー・ウエス

ニトリル手袋・保護メガネ

金属の携行缶（抜いたガソリン用）

新品のパッキンセット・ストレーナー

てじゅん

ガソリンを抜く → 外す → 分解 → そうじ → 組む → 漏れチェック

旧車ノート
2026年9月

1 ガソリンを抜く

- コックを **OFF** にする
- キャブ側のホースを抜いて、**金属の受け皿**に流す
- **タンクを空にするのが一番安全**。残っていると、コックを抜いたとたん全部出てきます
- 抜いたガソリンは**金属の携行缶**へ。ペットボトルは使わない（静電気・溶ける）

2 コックをタンクから外す

- ホースを2本とも抜く。**固くなっていたらカッターで裂いて外す**（無理に引っばらない）
- 六角ナットをゆるめる。**本体を手で押さえて、ナットだけを回す**。本体ごと回すとタンクのネジが痛みます
- まっすぐ引き抜く。**ストレーナー（網）を引っかけて折らない**
- 抜いたら**タンクの中をのぞく**。サビやドロが出ていないか確認

3 レバー側を分解する

- **分解する前にスマホで写真を撮る**。レバーの向き、ON と RES の位置
- プラスビス2本を外す。**押しながら回す**（力の8割は「押す」、2割で「回す」）
- 出てきた順に、紙の上に一列に並べる（3ページ目の図のとおり）

4 そうじする

- パーツクリーナーで、通り道と**パッキンが当たる面**を洗う
- **当たる面にキズや段差がないか、指でなでて確認**。ここが荒れていると、新品でも漏れます
- 真鍮パイプの中が詰まっていないか確認。**針金は通さない**（中に傷がつく）
- ストレーナーは、破れ・目詰まりがあれば交換

5 新しいパッキンを組む

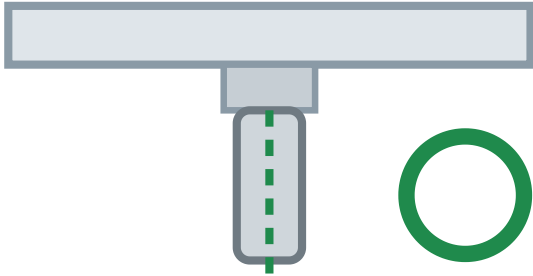
- **向きに注意**。片面に溝があるパッキンは、溝のある側が通り道のほう
- **グリスは基本つけない**。つけるなら「燃料用ラバーグリス」を薄く。ふつうのシリコングリスはガソリンでふくらむことがあります
- **ゴムに液体ガスケットは使わない**。はみ出して通り道をふさぎます
- ビスは**対角に少しずつ**締める。締めすぎるとパッキンがつぶれて、逆に漏れます
- 締めたらレバーを何回か動かして、**渋くないか確認**

6

タンクに戻す

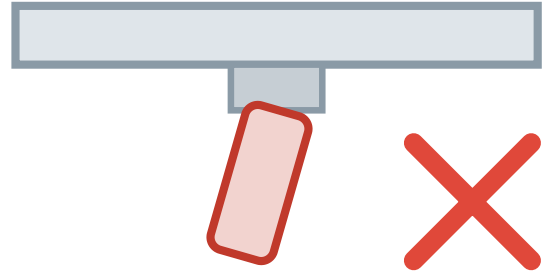
- タンク側のパッキンも新品にする
- **かならず手で回しはじめる**。まっすぐ入るのを確かめてから工具を使う
- 締めるのは「漏れないぎりぎり」。**ナットが当たってから 1/4～1/2回転**が目安

○ まっすぐ入れる



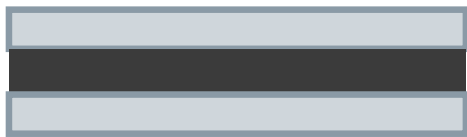
手で回して、すっと入るのを確かめる

× ななめ入り



タンクのネジ山が壊れます。この作業で一番多い失敗

○ ちょうどよい締め



ゴムが形を保っている

× 締めすぎ



つぶれて、逆に漏れる

7

漏れチェック —— ここが一番大事

- コックを **OFF** のまま、少しだけガソリンを入れる
- **5分おいて、白いウエスでコックのまわりを拭って確認する**（白いと、にじみが見える）
- **ON** にして、ホースの先からちゃんと流れるか。レバーのまわりからにじまないか
- **RES** でも同じ確認をする
- だいじょうぶなら、ホースをつないで、**走る前にもう一度見る**

⚠ 「そのうち止まる」で放置しない

- ガソリン漏れは**火事に直結**します。エンジンは熱く、マフラーはもっと熱い
- 少しでもにじむなら、もう一度外して、パッキンと当たり面を見直す

8

おぼえておくこと

気づいたこと	どうするか
タンクの中にサビが見えた	コックだけ直しても、また詰まります。 サビ取りとコーティングまで考える
ホースが固い・ひび割れ	走行中に抜けると全部漏れます。 バンドごと同時交換
キャブがよく詰まる	キャブの手前に インラインの燃料フィルター を足すと、開ける回数が減ります

これは個人の作業記録です。車両の年式・状態・過去の改造によって、手順が当てはまらないことがあります。
燃料系は火災に直結します。迷ったら作業を止めて、専門店で相談してください。